

# 跳ねて楽しいトランポリン

## 石越町JUMP(トランポリン)愛好会

**県北** 大崎・登米・栗原

**WIDE** 水

記事についてのお問い合わせは  
地域版編集室 ☎0229(24)6144へ

掲載エリア/古川市・加美郡・志田郡・玉造郡  
遠田郡・栗原市・登米市=3市11町

メガネ・補聴器専門店 JA全農みやぎ取扱店

メガネの **ワールド**

本店/加美郡加美町 ☎0229(63)2417



楽しそつに跳躍する会員たち



子ども自分の身長ほどの高さを難なく跳ぶ



大人の手本に見入る小学生たち

登米市石越町は旧石越町時代から、スポーツチャンバラやインディアカ、トランポリンなどのニースポーツに積極的に取り組んでいる。特にトランポリンは、県北唯一のトランポリン団体「石越町JUMP(トランポリン)愛好会」があり、活動も活発。二十八、二十九日には町内で、トランポリンの大会も開かれる。メンバーは現在、大会に向けて奮闘中だ。

石越町JUMP愛好会 能力のアップを、大人なは、一九八六年に結成さから運動不足解消や体力増目を迎える。会員は三歳 日本トランポリン協会から五十歳までの四十二人。その多くが小学生だ。同町をはじめ、認定二種普及指導員で、め、南三陸町や一関市な会長を務める佐藤隆さんど広域から集まる。

28、29日  
石越小体育館

### 東北シヤトル大会開催

#### 技と記憶力で勝負

会のモットーの魅力は、子どもから大人まで、すぐに取り組めること。難しいルールは「跳躍の繰り返さない」と語る。返して、子どもも「愛好会では、競技性から運動能力や身体重視しない代わりに、日

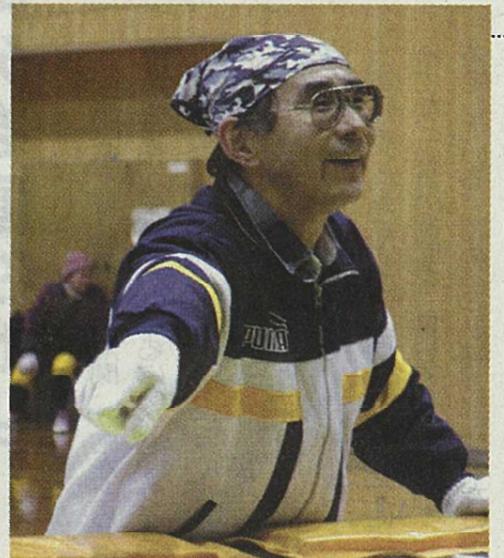
二十八、二十九日に石越小体育館で、トランポリンの大会が開かれる。東北トランポリン連盟主催の第一回「東北シヤトル競技大会」だ。

これまで、東北トランポリン競技選手権大会の一競技として行われていたが、今年から独立し、一つの大会となった。

佐藤さんは「対戦相手の苦手な技を見極めたり、攻めの技を交えることがシヤトル競技の面白さ。来場は自由なので、多くの人に見に来てほしい」と呼び掛ける。

大会では、下位二チームと、愛好会の子どもたちが対戦する。子どもたちが公式戦に挑戦するのは初めてだが、佐藤さんは「普段の練習から遊び感覚でシヤトル競技を行っている。頭の柔らかい子どもたちの方が勝つ可能性は十分にある」と期待する。

大会は、二十八日が午後一時半から、二十九日は午前九時から。問い合わせは、大会事務局の高橋さん02228(34)2442へ。



トランポリンの魅力を広げようと張り切る、会長の佐藤隆さん

本トランポリン協会認定の検定試験「バッチテスト」を、子どもたちの活動目標にしている。バッチテストは、一、二、三級の各級ごとに、腹落ち、ひねり、開脚などを審査。昨年十一月に仙台市で行われた検定試験では、石越小学校三年の鈴木美咲さん(九)と、同校六年の鈴木早紀さん(一二)が見事一級に昇級した。



愛好会は水曜日午後7時30分から9時まで、石越体育センターで活動している。会員を随時募集中